

九重の高原から

TAKE FREE

九重ふるさと自然学校通信

Vol. 35

2016. 初夏号

さとぼる時間

九重のさとぼる【里の草原】で育まれてきた自然や文化、そしてそこに流れるようなのんびりとした時の流れを感じてほしいという願いを込めて、「さとぼる時間」と名付けました。

特集

飯田高原のちまき



今号の主演 

ヨシの葉で巻いた
ちまき

作りたてのちまき。ヨシの葉の爽やかな香りが匂ってきそうです。九重の飯田高原では、湿地が多いことから、身近に生えているヨシとスゲの葉を使ってちまきを巻く文化があります。みなさんの住んでいる地域は、どんな植物でちまきを巻きますか？

- くじゅうびと “さよちゃんのとうきびもち”
- 自然学校 News! - さとぼる OPEN & 田んぼサロン始動! -
- STAFF コラム - 田んぼピオトープ & さえずりの季節 -
- 自然・里山体験プログラムはる・なつ 参加者募集

飯田高原のちまき

ヨシの葉っぱの
いい香り〜
おいしい!

* 柏は新芽が育つまで
古い葉が落ちない。子
孫繁栄の葉とされる

端午の節句の食べ物といえば、“ちまき”や“柏餅”ですが、中国から端午の節句が伝来した時にちまきが伝えられました。その後、江戸時代には縁起のよい柏餅(*)が食べられるようになり、西日本からちまき、東日本から柏餅を食べる文化が広がったようです。九重ふるさと自然学校では、九重・飯田高原の食文化として、この地域特有のちまきを継承する活動を行っています。



大人の背丈以上に成長したヨシ。
大きい葉が巻きやすい

ちまきの葉は、ササで巻く地域など色々ありますが、九重町の飯田高原では、昔から野焼きによって湿原や草原が維持され、身近で手に入りやすかったヨシの葉を使います。

元来、端午の節句は旧暦の5月5日(2016年は6月9日にあたる)に行なわれ、この頃になると、ヨシの葉はちまきを巻けるほどの大きさに成長します。団子をごねてヨシの若葉で包み、それにヨシの葉を3枚重ね合わせながらスゲの葉で巻いていきます。一つひとつ気持ちを込めて巻いたちまきは、節句を祝う楽しみの一つです。



端午の節句は、男の子の節句でもありますが、古くは菖蒲(しょうぶ)の節句とも言われ、無病息災を願う行事でした。ちまきを巻くことを通じて、季節の移ろいを感じながら、その時季の草花、生きものとともに人生を楽しむ。このような暮らしが、心に豊かなゆとりを与えてくれるのかもしれない。



飯田高原でちまきを
毎年巻き続けている
ときまつ またお
時松 又夫さん

なんでも便利な現代の生活からすれば、“葉っぱで巻いてもまたすぐ取って食べるのに、なぜわざわざ巻くのか。結局、団子を茹でて食べるのと変わらない”と言われるかもしれない。でも、その季節の葉っぱで団子を巻く楽しみ、ヨシの香りとともに団子を食べる楽しみを一緒に味わうんだよ。



ちまきには、強い香りでも邪気を
払うと言われるヨモギとショウ
ブの葉を添える

○旧暦とは・・・

月と太陽の動きをもとに作られた暦ですが、花・鳥・草木など自然に注目したもので、田植えや農作業の目安になる農事暦でもありました。旧暦をもとに暮らしていた時代には、人はそうした自然界の変化の様子を細やかに感じとり、生活していたのでしょう。



ちまきを食べ、立身出世と無病息災を願う

参加者募集

ちまき巻きと、新緑の草原散歩&草花で遊ぼう!

草原の草花あそびとちまきづくり

6/11(土) 13:30~17:00

大人 500円 子ども(小・中学生) 300円

詳細はホームページを、お問合せ先は裏面をご覧ください。



※大分県「平成28年度 青少年ふれあい交流体験推進事業」との共催

九重の様々な分野で活動する人にお話を聞く連載記

くじゅうびと Vol.8

たけいし さよこ
武石 小代子さん



飯田高原の伝統食。

思い出の味 とうきびもち

とうきびもち。ほんのり香ばしい素朴な味わいで、餡子との相性もばっちり!



“さよちゃんのもち”と呼ばれ、大分県九重町飯田高原で地域の人々に愛されている、武石さんのとうきびもち。とうきびもちとは、じっくり自然乾燥させたとうきび(トウモロコシ)を粉にして水で練ったあと、もち米と一緒に蒸して搗き、餡子を包んだお餅だ。

武石さんは1947(昭和22)年に飯田高原に嫁いできた。戦後は今と違って食べものが裕福にある時代ではなく、とうきび粉をご飯や餅に混ぜて食べていたようだ。

餅に使うとうきびは、飯田高原で「むたとうきび」と呼ばれる品種。夫の喜八郎さんと5反の畑で育てていた。むたとうきびは、毎年栽培したものからタネをとって翌年蒔くというように、武石さんが60年以上にわたって保存・継承してきた品種だ。いわゆる地域の伝統野菜の一つで、

現在は飯田高原で栽培する人も減った。「とうきびもちに使うとうきびは、むたとうきびが一番いいよ。香ばしくて元気が出る美味しさ!」。武石さんにとって、むたとうきびを作ることは、とうきびもちの味を伝承すること。そしてこの餅にたくさんの思い出も詰まっている。武石さんは、飯田の野菜(生きもの)と食文化をつなぐ一人なのだ。

とうきびもちも、武石さんが20年間会長を務めた地元食生活改善推進協議会「やまめの会」が中心となって、飯田高原の春の文化祭などで出品されている。毎年、多くの人が懐かしいその味を心待ちにしているようだ。

とうきびもちを愛してやまない“さよちゃん”。これからもお元気で、飯田ならではの味を伝え続けてください。



むたとうきび。家で飼っていた3頭の牛には飼料用とうきびではなく、むたとうきびをあげていた。旦那さんのアイデアで、「人間が食べるものを牛にも食べさせたら良い牛になると思ったんですよ」。1957(昭和32)年には、その牛が玖珠郡のセリ市場で一等賞に輝いた!

九重自然教室

毎週日曜・祝日に開園

「さとぼる」4/29(金・祝) OPEN!



草原
湿地
雑木林
池
湧水



自然散策
草花鑑賞
バード
ウォッチング
昆虫観察 など



九重ふるさと自然学校のフィールド「さとぼる」は、九重の四季の自然を楽しめ、そこにすむ生きものとく〜っと近くでふれあえる場所。

ご来園お待ちしております！

入園料：無料

開園時間：10:00~16:00

ホームページで開園情報更新中！
さとぼるへのアクセスについては、裏面のMAPをご覧ください。

毎週日曜・祝日に開園中ですが…
＜臨時休園日のおしらせ＞
下記の日程は、主催行事開催日につき、休園させていただきます。
5/29(日) 7/17(日) 7/31(日)

田んぼサロン始動!!!

九重ふるさと自然学校では、田んぼがお米を作るだけでなく、生きものたちのすみかになっている特徴に注目し、生きもの育む“自然共生型田んぼ”づくりを行っています。その田んぼの生きものたちの実態を解き明かし、今後の環境整備の指針とするための、調査と交流の活動「田んぼサロン」を始めたいと思います。

- ・自然共生型田んぼの生きものたちに会いたい！
- ・田んぼの生きものについて調査・観察を通して学びたい！
- ・のどかな田舎の田んぼで癒されたい方…



トノサマガエル

奮ってご参加ください！

参加にはボランティア登録が必要になります

ご登録いただいた方には、機会があるごとにボランティア活動のご案内をします。田んぼサロンなど、なんでも興味のあるものにご参加ください。



ビオトープ整備



自然散策路整備



昆虫だいすき！スタッフ朝倉のフィールド手帖



魚道整備で卵を救え！

昨年の稲刈りから、はや6か月。今年も田植えの準備が始まりました。当校が実践する生きもの育む“自然共生型田んぼ”には、田んぼから水がなくなる時期の生きものたちの避難場所として、水路や魚道で繋がるビオトープがあります。そこでは、真冬にも関わらず元気にヒメゲンゴロウが泳いでいました。そんな一部の水面が凍っている2月19日、今年初めてニホンアカガエルの卵を確認しました。カエルの中で彼らが毎年一番乗り！

しかし、以前整備した魚道は水漏れが目立っており、せっかくの卵が干上がりかねません。そこで、3月30日に豊富な技術を持つボランティアスタッフの力を借りて、補修を行いました。これで卵も干上がることなく、他の水辺の生きものも安泰です。今年も田んぼやビオトープでどんな生きものたちに会えるか楽しみです！



ニホンアカガエルの卵塊



魚道を補修中！



野鳥だいすき！スタッフ阿部の鳥人。あべべのとりこばなし

活気づく季節

春～夏は野鳥たちにとって繁殖のシーズンです。日本で越冬したツグミやミヤマホオジロと言った冬鳥たちは繁殖地である北国へと旅立ち、入れ替わるように南方からオオルリやクロツグミなどの日本で繁殖する夏鳥たちが渡って来ます。

繁殖シーズンの始まりは、野鳥の行動の変化によっても感じることができます。それまで静かに越冬していた留鳥(1年中日本で暮らす鳥)たちが競うように美声を披露し始めるのです。この“さえずり”という美声は主にオスが繁殖のためのなわばり宣言や、メスへのアピールのために発する声で、ウグイスの「ホーホケキョ」などは有名です。

春～初夏は繁殖期の始まりで、野鳥が最も活動的になる時期です。穏やかな陽気に屋外が恋しくなるこの季節、自然を彩る野鳥たちに出会うバードウォッチングはいかがでしょうか？5月・6月のプログラムの参加をお待ちしています！



巣材(クモの巣)を集めるエナガ



クロツグミ

九重のんびりハイク。 九州自然歩道を歩こう！

春 5/4 (水・祝) 9:30～16:00

九重の里山に春を探しに出かけよう♪

※筋湯温泉～天ヶ谷貯水池～ひびら峠の約11kmを予定

夏 8/11 (木・祝) 9:30～15:30

湿原と森をトレッキング

※長者原～雨ヶ池～指山自然観察路の約7kmを予定

各回 大人 500円
子ども (小・中学生) 300円



写真提供：長者原ビジターセンター

タデ原のバードウォッチング

春 5/7 (土) 9:30～12:00

春の到来に美声を響かせる
愛らしい鳥たちに会いに行こう！

初夏 6/12 (日) 9:30～12:00

子育て中の鳥たちの暮らしをのぞいて
みよう！カッコウなどの夏鳥も勢ぞろい！

双眼鏡貸出します。
初めての方もお気軽に♪

各回 大人 500円
子ども (小・中学生) 300円



春のボランティア day キャンプ ～大人の田植え祭り～

5/21 (土) 10:00～17:00

田植えを満喫し、昼食は田んぼで野外炊飯！

参加費無料 ※対象：社会人・学生



田んぼの生きものしらべ

春 5/14 (土) 13:30～16:30

田植え直前！泥んこになって
生きものを探そう。

※定員に達したため、ただ今キャンセル待ちです

初夏 6/18 (土) 13:30～16:30

生きものたちの活動が活発な初夏！
オタマジャクシの成長ぶりは？

各回 大人 500円
子ども (小・中学生) 300円

※春、初夏、秋(10/10)の全3回にご参加いただいた方には、
「田んぼの生きもの博士」の認定状をプレゼント！



トキもすすめる田んぼづくり

田植えキャンプ 5/28 (土) 13:00
～29 (日) 14:00

湯苗取り・田植え・生きものさがし・食事作り
温泉♨️ 1泊2日で春の里山を丸ごと体験！

大人 (中学生以上) 4,000円 子ども (小学生) 3,000円



草取り&夏のトンボしらべ

7/17 (日) 10:00～17:00

雑草を取って稲を元気にしよう！
夏の田んぼにはどんなトンボがいるかな？

大人 (中学生以上) 1,500円
子ども (小学生) 1,000円

※9/22 稲刈り、11/3 収穫祭の全4回



川の生きものしらべ

7/23 (土) 13:30～17:00

筑後川最上流域の清流で、川遊びと
生きもの採集&観察をしよう！

大人 500円 子ども (小・中学生) 300円

※申込み多数の場合は抽選となります



野生動物を探しにいこう

7/30 (土) 13:30～31 (日) 14:00

動物たちの痕跡さがし、ナイトウォーク
ネズミの捕獲...野生動物に迫る1泊2日！

大人 5,500円
子ども (小・中学生) 3,500円

※申込み多数の場合は抽選となります



プログラムの詳細は、ホームページをご覧ください。

9月以降の秋プログラムも掲載しています！

*各プログラムは定員に達し次第、キャンセル待ちとなります。

「野生動物を探しにいこう」(申込締切6/22)

「川の生きものしらべ」(申込締切6/24)は、毎年ご好評につき、
定員に達した場合は抽選とさせていただきます。

お問合せ
お申込みは

一般財団法人
セブン-イレブン記念財団

九重ふるさと自然学校

〒879-4911 大分県玖珠郡九重町大字田野1624-34 (事務所)

TEL0973-73-0001 FAX 0973-79-3434

✉️ kujyu-sizengakkou@7midori.org

ホームページ
<http://www.7midori.org/kokonoe>

Facebook でも情報更新中！



事務所
MAP



さとばる
MAP

